



今月の農家さん

常に挑戦し続ける

守山市水保町

今井 伊知郎さん(48才)



20才を過ぎてから本格的に農業を始めた今井さん。4月はハウスで育てているキュウリやトマトの世話で大忙しです。

今井さんは子どもの頃、ご両親の畑作業や直売を手伝い、自分で育てた野菜で人に喜んでもらえる事の嬉しさを知ったそうです。

「より多くの人に『おいしい』と思ってもらうため、消費者の声を直接聞く事ができる直

売にこだわっています」と今井さんは語ります。

また、今井さんは、興味を持った新しい栽培方法をどんどん取り入れ、同じ事の繰り返しにならないように心がけています。

最後に今井さんは「農業は、収穫の喜びまでに多くの苦勞があります。ですが、苦勞が大きければ大きいほど得る喜びも大きくなります」と話しました。

営農情報

水田準備作業時の

安全確保について

4月に入ると、水田の準備が本格的に始まりますが、農繁期の春と秋は農作業事故が多発する時期でもあります。

特にトラクターなどの乗用作業機械を運転する時には、十分気を付けましょう。

○安全作業の基本

① 作業時以外はブレーキ連結

トラクターのブレーキは、左右で分かれており、作業中の小回りが利くようになっていきます。しかし、作業終了後に連結操作を忘れると、急旋回・転倒事故につながります。

圃場から道路へ出る時や道路を走行する前に、左右のブレーキを連結したか確認しましょう。

② 圃場には低速・直角で進入

圃場への進入路を整備し、適切な幅と傾斜を設けましょう。段差が大きい場合は、ブリッジ等を使い、低速で直角に進入しましょう。

また、進入路以外から圃場に入り出す事は控えてください。

③ 急な斜面はバックで

ロータリーをつけたトラクターは重心が後ろに偏っており、無理に坂道を前進すると前輪が浮き上がって転倒する可能性があります。急な斜面はバックで上がりましょう。

また、バランスをとるため乗車位置以外に人が載る事は、大変危険ですので絶対におやめください。

※トラクターで代かきなどの作業を行った後は、泥をしっかりと落とし、道路を汚さないようにお願いします。

